## 平成 25 年度事務事業評価調書

事	業	□	_	ド	050	05030101 区										5	·		実行	Ī		経常							
ⅎ	系務	事	業		英V 的都省对象已纪念公共大选0007 ——————————————————————————————————									名	地域	振興	課												
7	* 1751	<b>*</b>	未		方	調査	研:	究							作成	責任者	ĭ職E	氏名	課長	北	浦秀	明					内線		451
	第4次総合計画 体系				(基本柱)						(基本施策) 03公共交通の充実								(細加	拖策	Ę)	-							
体					05建設•交通				03					01地域公共交通システムの構築															
美	E 方	包	期	間		単名	年		継続	( 2	平成2	23年	度~			年度)	)	実	施	方	法		直営		]	委託		補具	助等
柅	拠	法	令	等		有			無	法	令 等	手の	名称	<u> </u>									義務	付(	<b>†</b> [	口有	<u> </u>		無

# Ⅰ 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
①目的	
買い物弱者(高齢者等)への支援策と地域公共交通との連携のあり方などを調査研究し、本村域に買い物弱者の解消と対応策を図る。	
②内容	村民
買い物弱者への支援と地域公共交通のあり方について、現状の把握や分析、対応策などを調査研究する。	
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
高齢者等の買い物弱者の利便性の向上	地域課題の抽出及び施策展開の手法

# Ⅱ 事務事業の実施<Do>

	□ 予切予未♥ン夫心 \レ∪ ン													
(1)	(1)事務事業の事業費及びコスト費													
	/				23 年度		24	2	5 年度		26	年度		
					実績	事第	美費(予算)	実績(見)	<u>入</u> )	事業	費(見込)	事	業費(5	見込)
事業費(見込含む)(千円)(A)			0		0					0				
		国庫式	と出	金										
		府 支	出	爭										
	財	分担金 ·	· 負 担	金										
	源内訳	使用料:	・手 数	料										
		起		債										
		その他	の特	財										
		一 般	財	源	_				_		_			_
人	<b>—</b> А	投職員所要人	.員(人)	(B)	0		0			0				
件費	一; 給·	般職員人件 与×(B))(·	費(平: 千円)(	<u>೧</u>	0		0		0		0			0
総:	コス	ト費(千円)	(A+	C)	0		0			0				
人	Пā	うたりコスト	(円)		0		0		0		0			0
(2)	成县	<b>具指標等</b>												
77		化抽反八			七冊夕新	単位		24 年度			25 年月	茰	26	年度
田田	ヶ	指標区分			指標名称	甲型	目標値	実績値 達成		な率(%) 目標値			目標	票値
(	1)	目標指標 調査研			<b>슾</b>	<ul><li>回</li><li>12</li></ul>		0		0%		12 12		12
(2	2	目標指標												
(	3)	目標指標												

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 1 = <mark>0%</mark> (A)

#### Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証							
評価項目		評価結果	評価の理由及びその考え方				
①妥当性 ※施策の目的が村 の政策体系に貢献 しているか	3	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	村民の快適な暮らしを育むため概ね妥当である。				
②有効性 ※期待された効果	3	4. 効果がある 3. 一応の効果がある	買い物弱者の利便性の向上に資するため一応の効果がある。				
が得られているか		2. あまり効果がない 1. 効果がない	Ac 1999 II of 11 Electrical Control of the control				
③効率性 ※効率的に進めら	3	4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い	効率性について調査研究が必要である。				
れているか		2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	刈牛はに フレ・ に調査引 丸が必女でめる。				
④公平性 ※受益や負担が公	3	4. 公平である 3. 概ね公平である	効率性について調査研究が必要である。				
平になっているか		2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	刈平はについて調査別九か必女でのる。				

○事務事業評価値 (①~④の合計/16) 12 /16 75% (B)

(2)検証結果				
目標指標評価値	事務事業評価値	総合評価値	評価ラ	ンク(改善の目安)
(A)	(B)	(A) + (B) / 2		a:90%以上(現状維持又は拡充) d:30~49%(休止·廃止又は縮小)
0%	75%	38%	7	b:70~89%(見直し又は現状維持) e:30%未満(休止・廃止)
0/0	/ 3/0	JO/0	u	c:50~69%(縮小又は見直し改善)

#### Ⅳ 事務事業改善の方向性 < Action >

#### (1)改善の方向性

\_\_\_\_\_ ①改善の方向性(自己評価)

A ← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D:縮小 E:休止・廃止

②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等

買い物弱者の解消については、いずみ市民生協に委託し移動販売車を村内数カ所で実施しており、範囲の拡充を図る。今後、公共交通の他事例の研究等を具体的に進める。

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

#### (1)政策担当結果 買い物弱者の解消については、いずみ市民生協に委託し移動販売車を村内数カ所で実施しており、範囲の拡充を図る。今後、公共交通の他事例の研究等を具体的に進める必要性がある。 A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D:縮小 E: 休止・廃止

(2)第三者による有識者会議結果	
	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D:縮小 E: 休止・廃止

#### (3)行政経営戦略会議結果

買い物弱者の解消については、いずみ市民生協に委託し移動販売車を村内数カ所で実施しており、範囲の拡充を図る。今後、公共交通の他事例の研究等を具体的に進める必要性がある。

A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D:縮小

E:休止·廃止

Α